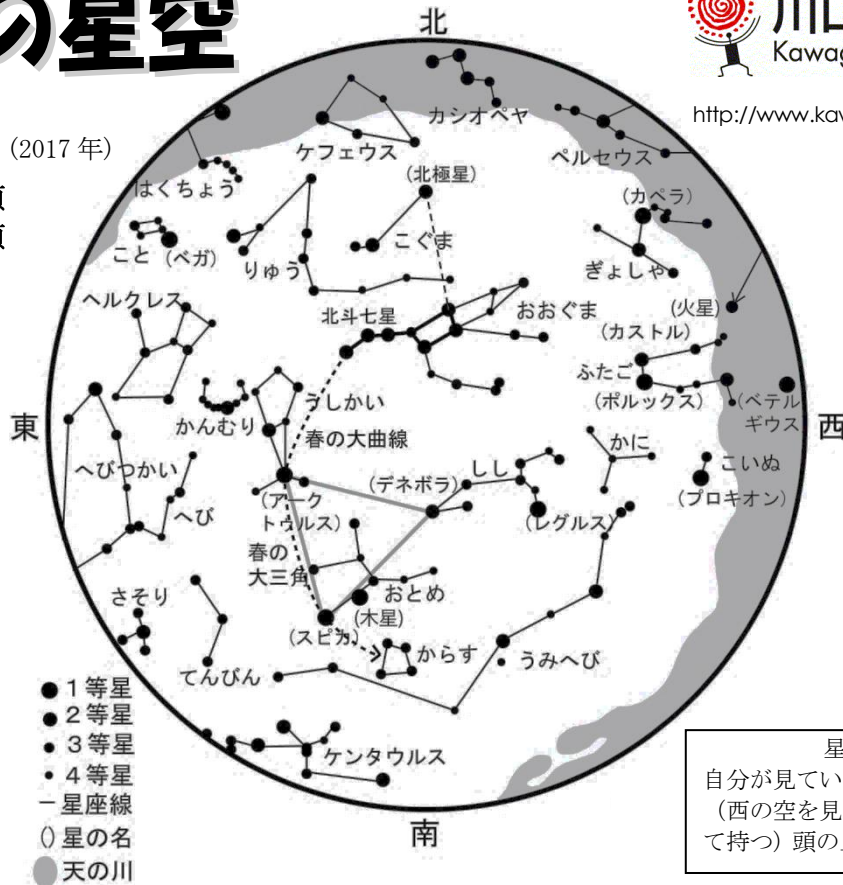


# 今月の星空

5月 (2017年)

上旬 21 時頃  
下旬 20 時頃



星図の見方  
自分が見ている方角を下にして、  
(西の空を見るときは西を下にして持つ) 頭の上にかざして見ます。

月 齢 ○ 上弦 3 日、○ 満月 11 日、● 下弦 19 日、● 新月 26 日  
惑星情報 金星 明け方 東 (うお座 -5 → -4 等級)  
火星 夕方 西 (おうし座 2 等級)  
木星 夕方 南東 → 南 (おとめ座 -2 等級)  
土星 明け方 南 (いて座 → へびつかい座 0 等級)

## ☆「春の大曲線」と「春の夫婦星」

南の空には「しし座」や「おとめ座」、北の空高くには「おおぐま座」などの春の星座が目立っています。

「おおぐま座」には「ひしゃく」の形で有名な北斗七星があります。「ひしゃく」の柄のカーブを延ばし、2つの1等星アークトゥルスとスピカを結ぶと「春の大曲線」になります。

日本では、麦刈りが行われるころに空高く見られ、実った麦を思わせるオレンジ色であることからアークトゥルスを「麦星(むぎぼし)」、その白い色からスピカを「真珠星(しんじゅぼし)」と呼んできました。また、色の違いから、この2つを合わせて「春の夫婦星(めおとぼし)」と呼びます。今年はとても明るい木星が近くにあるので、木星とスピカを間違えないように注意してください。

スピカから「春の大曲線」をさらに延ばすと、4つの3等星からなる「からす座」が見つかります。「からす座」の四角を日本では「よつぼし」などと呼んでいました。

## ☆ 大きい星座、小さい星座

春の星座は明るい星が少ないのが特徴です。そのためか、大きいものが多く、大きさNo.1の「うみへび座」、No.2の「おとめ座」、No.3の「おおぐま座」の全てが春の星座です。5月の20時ころには、この3星座を同時に見ることができます。町明かりが少ないところで探してみてください。

ちなみに1番小さい星座は「からす座」の南にある「みなみじゅうじ座」で、沖縄以南の地域で見ることができます。この星座は、南半球の国のシンボルになっていて、オーストラリア、ニュージーランド、ブラジルなどの国旗に描かれています。